

**議題(2)**

**人口の経年動向把握と将来推計**

- 1. 小牧市の自然・社会増減**
- 2. 愛知縣市町村の自然・社会増減**
- 3. 小牧市の将来人口推計**

議題主旨: 人口動態分析の結果を共有する

## 情報取得先に関する前提

同一の情報源から網羅的に統計を取得することが難しい為、一部集計時期・方法が異なる統計を補助的に参照した

### 分析に利用した基礎統計

分析対象	情報取得先
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小牧市の人口推移</li> <li>・ 小牧市の自然増減</li> <li>・ 小牧市の社会増減</li> <li>・ 愛知県内市町村人口推移</li> <li>・ 愛知県内市町村自然社会増減</li> <li>・ 愛知県内市町村転出入</li> <li>・ 愛知県内市町村自然増減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22-26年住民基本台帳人口・世帯数, 人口動態[市区町村別]</li> </ul>

+

### 補助的に参照した統計

分析対象	情報取得先
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小牧市の社会増減(年代別)</li> <li>・ 小牧市転入元・転出先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年 住民基本台帳人口移動報告</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小牧市の人口推計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成25年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小牧市の交流人口</li> <li>・ 小牧市の昼間流入出</li> <li>・ 愛知県内市町村交流人口</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年 国勢調査 従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・産業等集計</li> </ul>

同期間・同割付の「住民基本台帳(人口動態)」を参照しており、数値が一致する

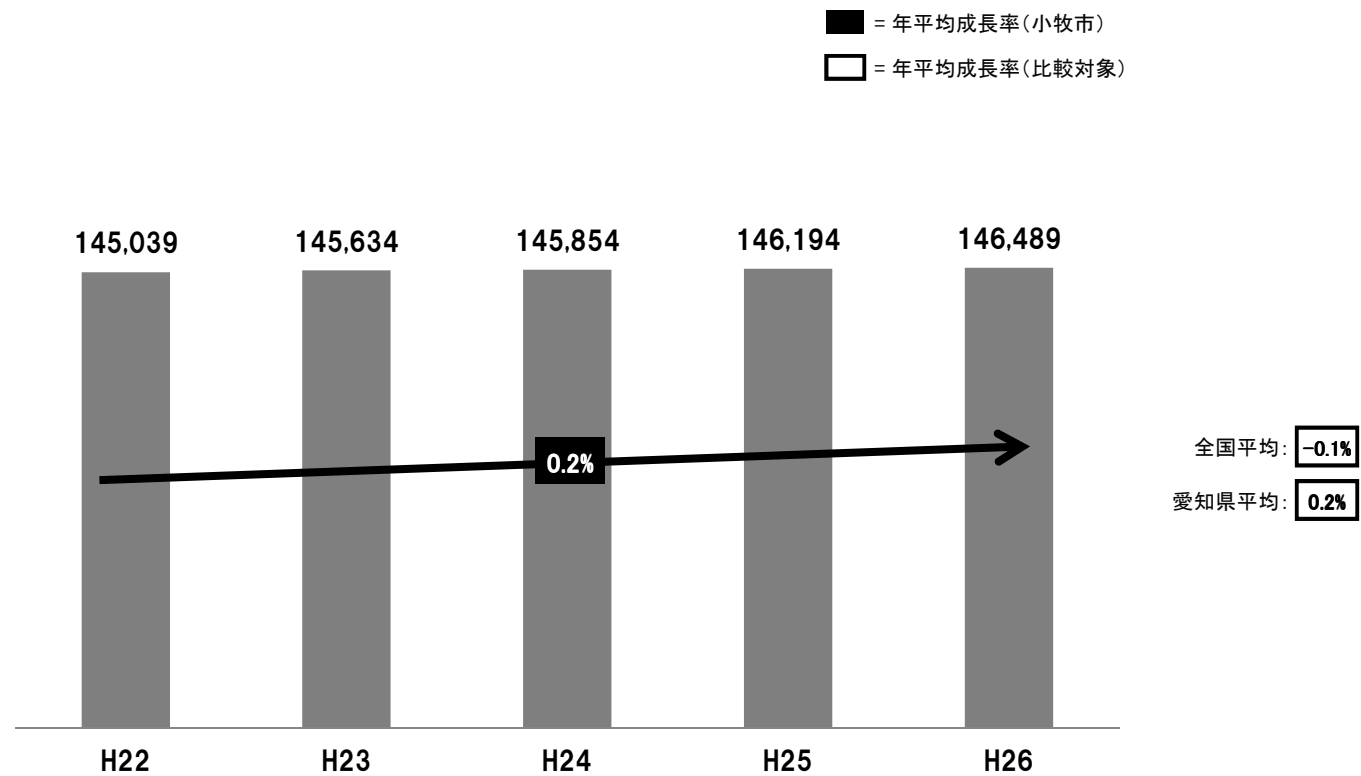
「住民基本台帳(人口動態)」では取得不可能な統計を上記情報取得先より取得  
その為、左記統計と数値の詳細は異なる

## 小牧市の人口推移\_全体

定住人口 交流人口

過去5年間の人口はほぼ横ばいで推移している

### 平成22年～26年\*における小牧市の人口推移\*\* (人)



資料: 平成22-26年住民基本台帳人口・世帯数, 人口動態(市区町村別)

\* 各年の3月を参照、但し平成26年のみ1月(例:平成24年 = 平成24年の3月時点)

\*\* 外国籍の住民は除く

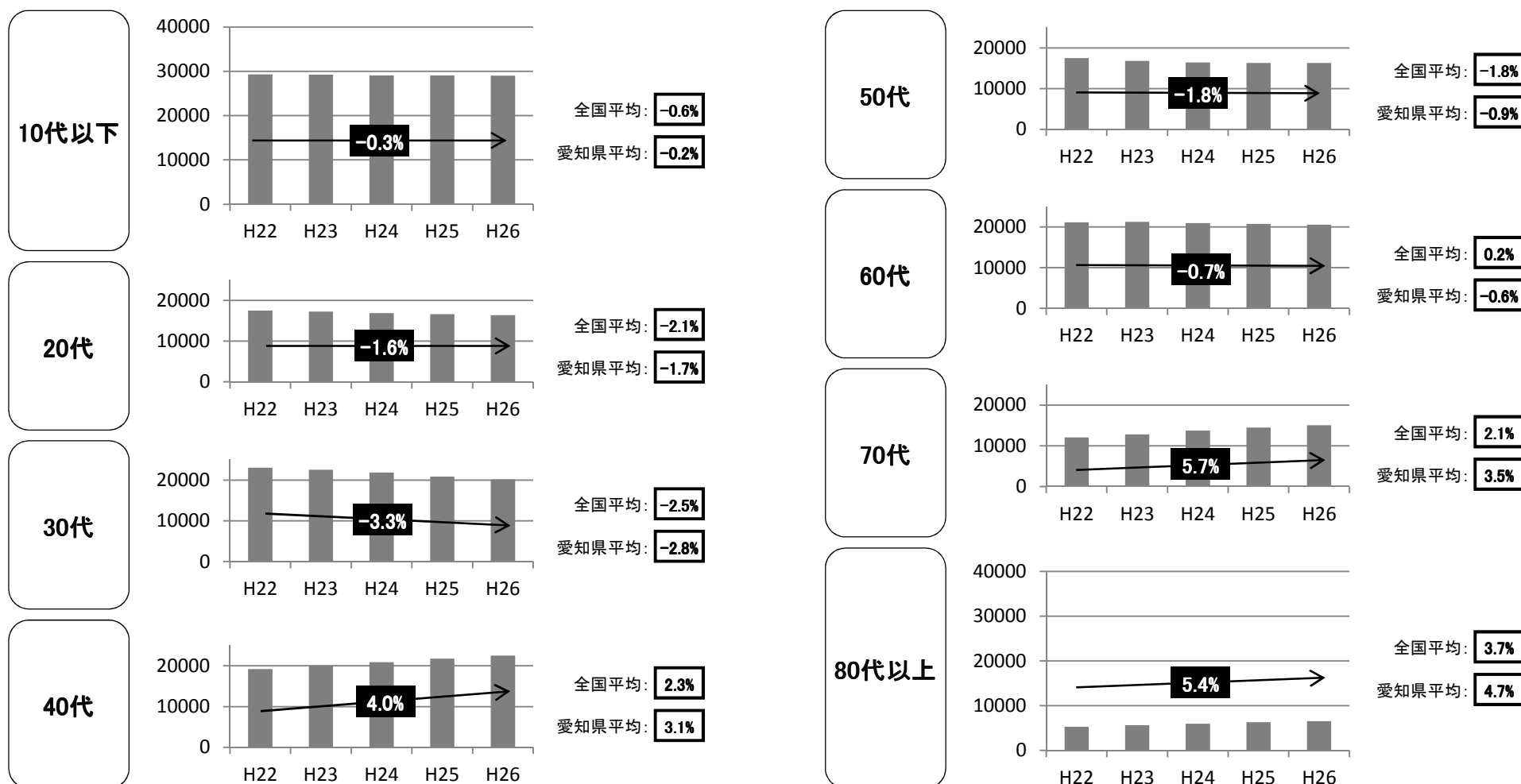
# 小牧市の人口推移\_年代別

定住人口 交流人口

## 生産年齢人口を中心に減少傾向にある

平成22年～26年\*における小牧市の年代別人口推移 (人)

■ = 年平均成長率(小牧市)  
□ = 年平均成長率(比較対象)



資料: 平成22-26年住民基本台帳人口・世帯数, 人口動態(市区町村別)

\* 各年の3月を参照、但し平成26年のみ1月(例:平成24年 = 平成24年の3月時点)

## (参考) 小牧市の人口ピラミッド推移

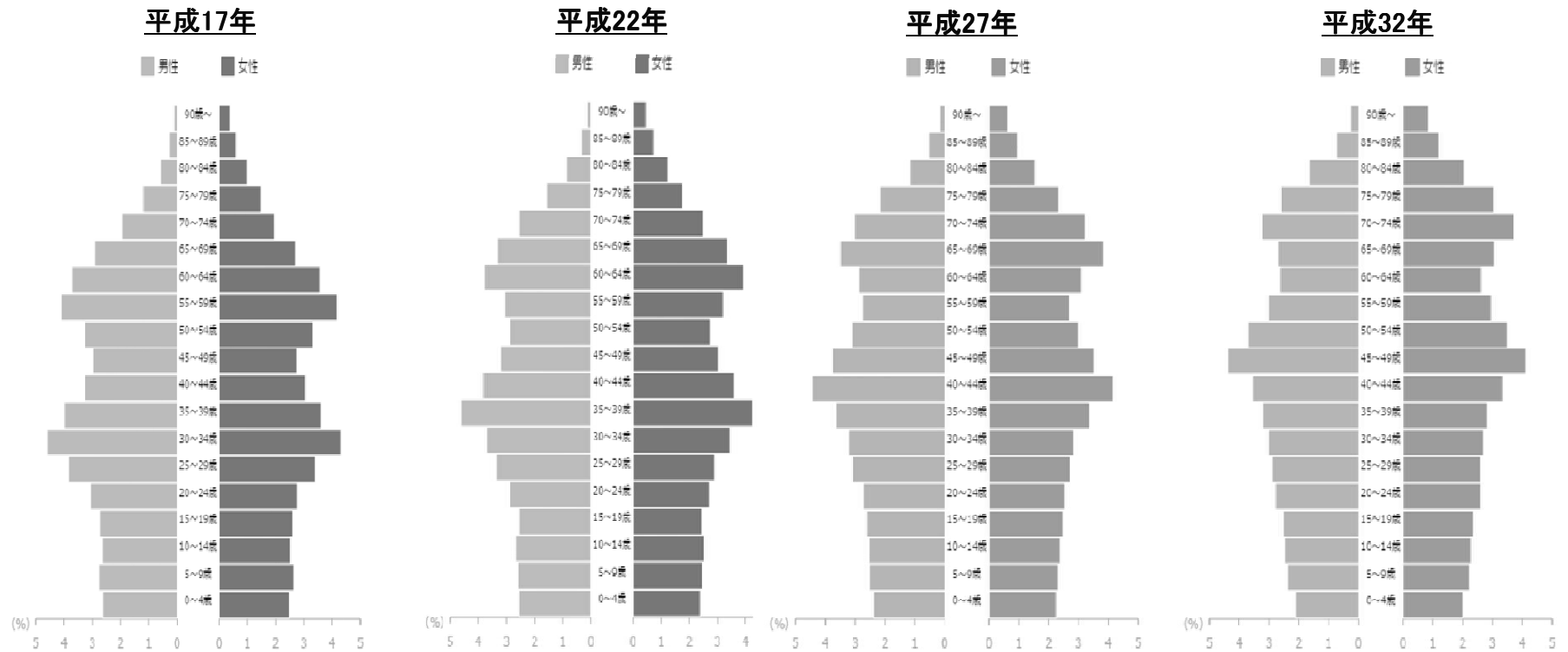
定住人口 交流人口

### 生産年齢人口が減少傾向にある

#### 平成17年・22年・27年・32年の小牧市の人口ピラミッド

国勢調査による実績値

国立社会保障・人口問題研究所による推計



老年人口(65歳以上): 21,471人 (15%\*)  
 生産年齢人口(15-64歳): 101,845人 (70%)  
 年少人口(0-14歳): 22,911人 (16%)

27,628人 (19%)  
 97,196人 (66%)  
 22,308人 (15%)

33,592人 (23%)  
 91,516人 (63%)  
 20,999人 (14%)

36,268人 (25%)  
 88,554人 (61%)  
 19,432人 (13%)

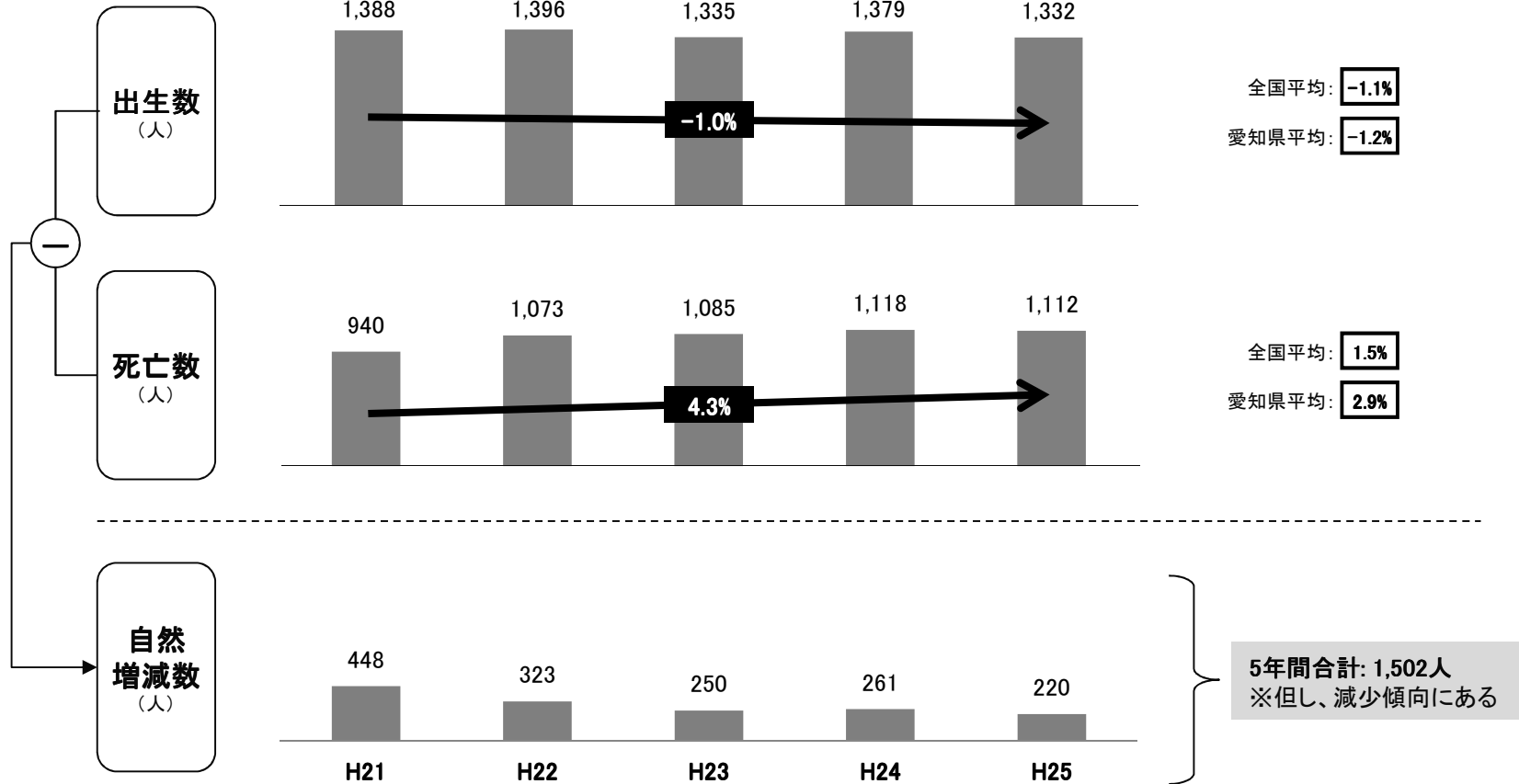
\* 小数点以下は四捨五入  
 資料: 平成22年 国勢調査  
 国立社会保障・人口問題研究所 男女・年齢(5歳)階級別データ-『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)

# 小牧市人口の自然増減

定住人口 交流人口

出生数の減少と、死亡数の増加に伴い、全体として減少傾向にある

平成21年～25年の小牧市の自然増減\* (= 出生数 - 死亡数)



資料: 平成22-26年住民基本台帳人口・世帯数, 人口動態(市区町村別)

\* 自然増減・社会増減は、発表年の前年のデータが掲載されている

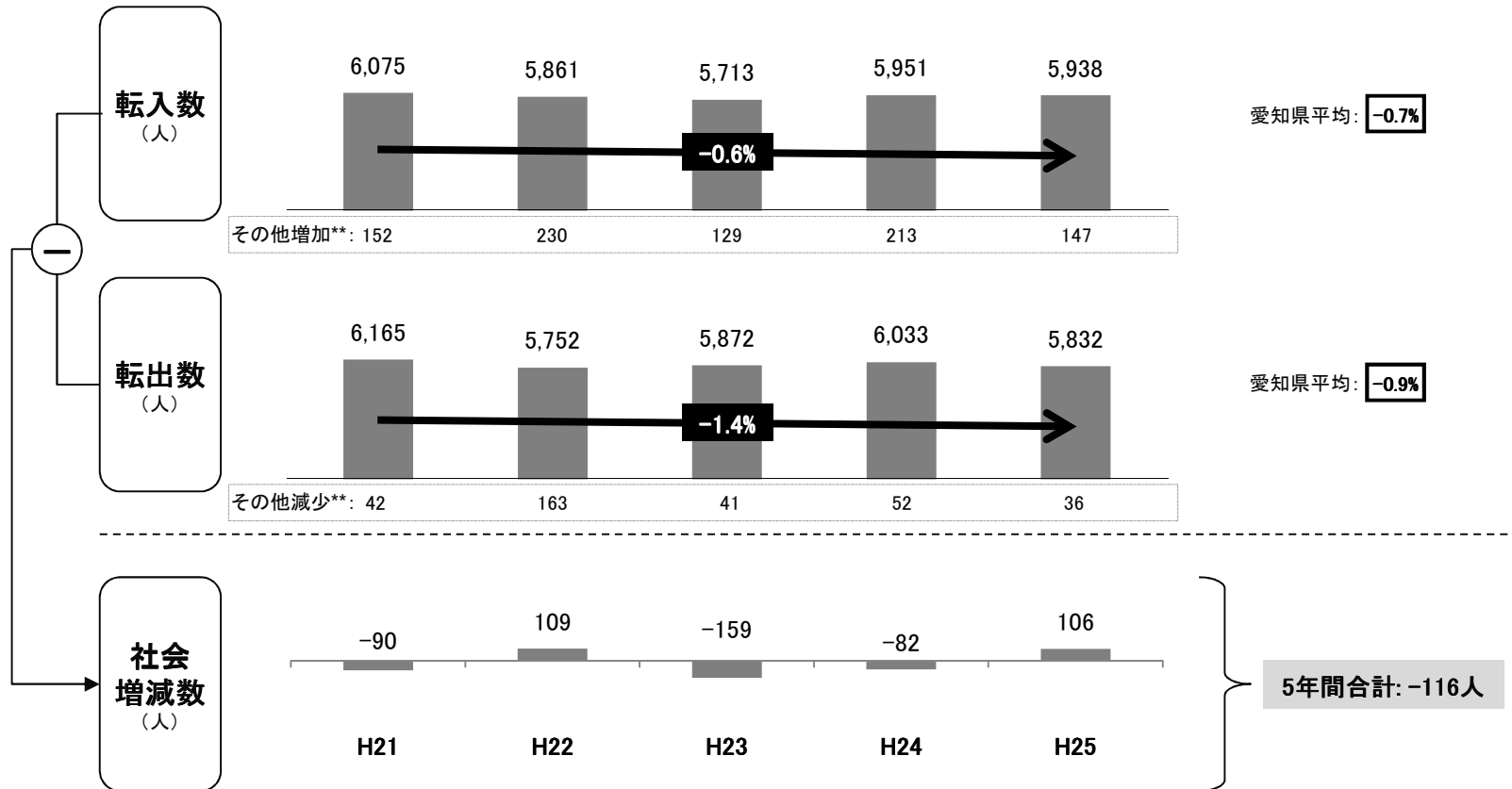
# 小牧市人口の社会増減

定住人口 交流人口

全体としての社会増減数は5年平均でみると減少している

平成21年～25年の小牧市の社会増減\* (= 転入数 - 転出数)

■ = 年平均成長率(小牧市)  
□ = 年平均成長率(比較対象)



資料: 平成22-26年住民基本台帳人口・世帯数, 人口動態(市区町村別)

\* 自然増減・社会増減は、発表年の前年のデータが掲載されている

\*\* その他の増減には、転出入によらない帰化、国籍取得等の社会増減が含まれる

(参考)平成26年の小牧市人口の社会増減\_年代別

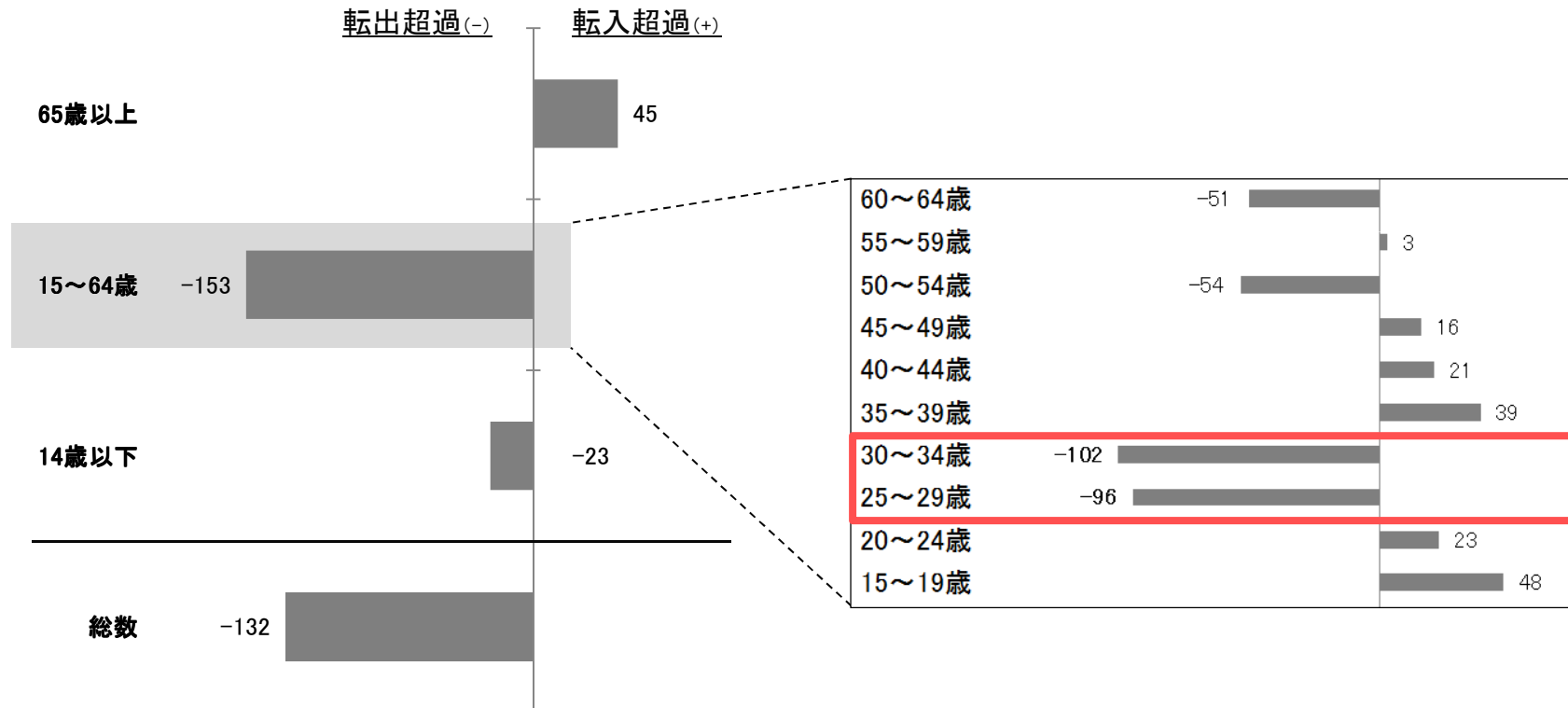
定住人口 交流人口

生産年齢人口(特に25-34歳)の転出超過が社会減に影響していると思われる

平成26年の小牧市の転入超過数 (= 転入数 - 転出数)

年齢3区分(人)

年齢5歳階級 生産年齢のみ抜粋(人)



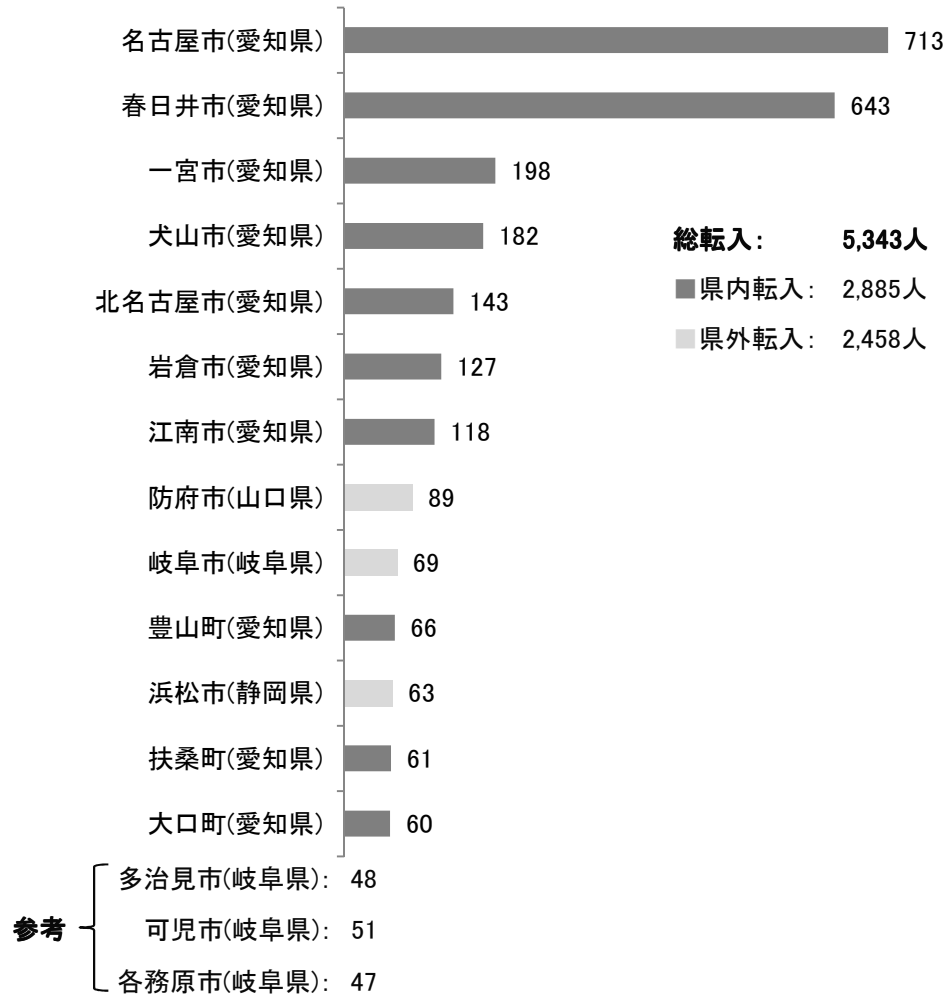
資料: 平成26年 住民基本台帳 年齢(3区分), 男女別他市区町村からの転出入者数-全国, 都道府県, 市区町村  
平成26年 住民基本台帳 人口移動報告 年齢(5歳階級), 男女別他市区町村への転出入者数

(参考)平成26年の小牧市人口の社会増減 \_ 転入元・転出先

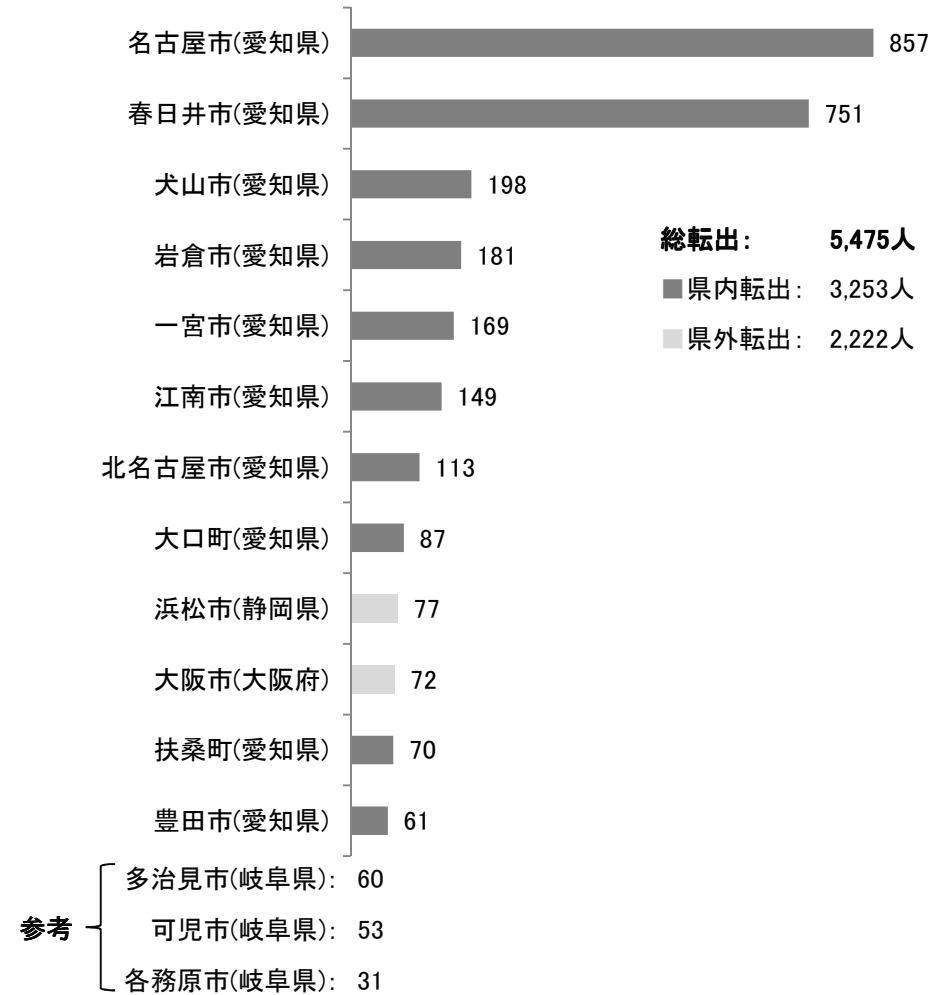
定住人口 交流人口

小牧市は、転勤と想定される他県からの転入・転出が多いほかは、近隣市町村からの転入・転出が顕著である

小牧市への転入元(上位地域) (人)



小牧市からの転出先(上位地域) (人)



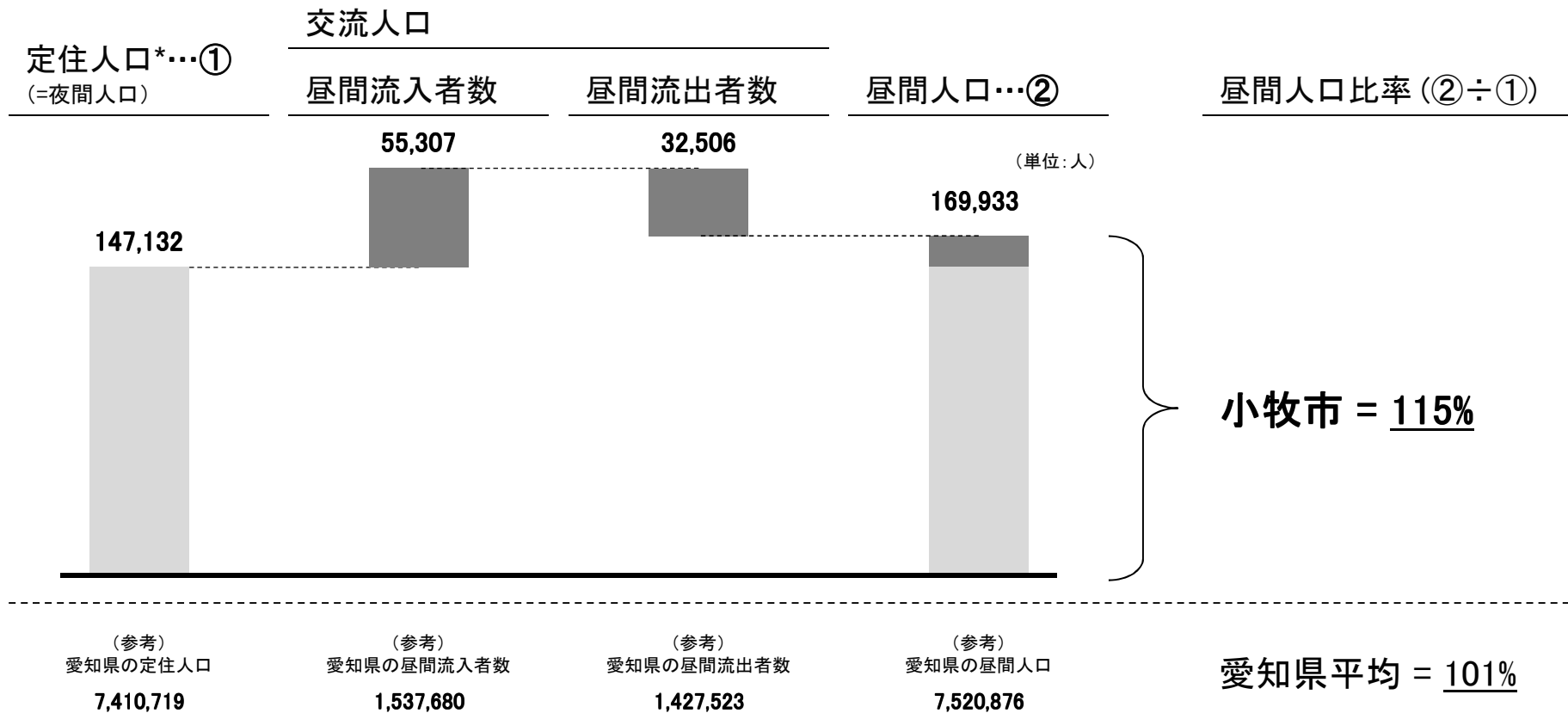
資料: 平成26年 住民基本台帳 人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級), 男女, 転入・転出市区町村別結果)

## 小牧市の交流人口

定住人口 交流人口

流入超過により、昼間人口比率は約115%となっており、愛知県平均よりも14ポイント高い

### 平成22年の小牧市の交流人口



資料: 平成22年 国勢調査 常住地又は従業地・通学地による人口(夜間人口・昼間人口)

\* 本データにおける定住人口は国勢調査ベースの人口であるため、住民基本台帳ベースの数値とは異なる

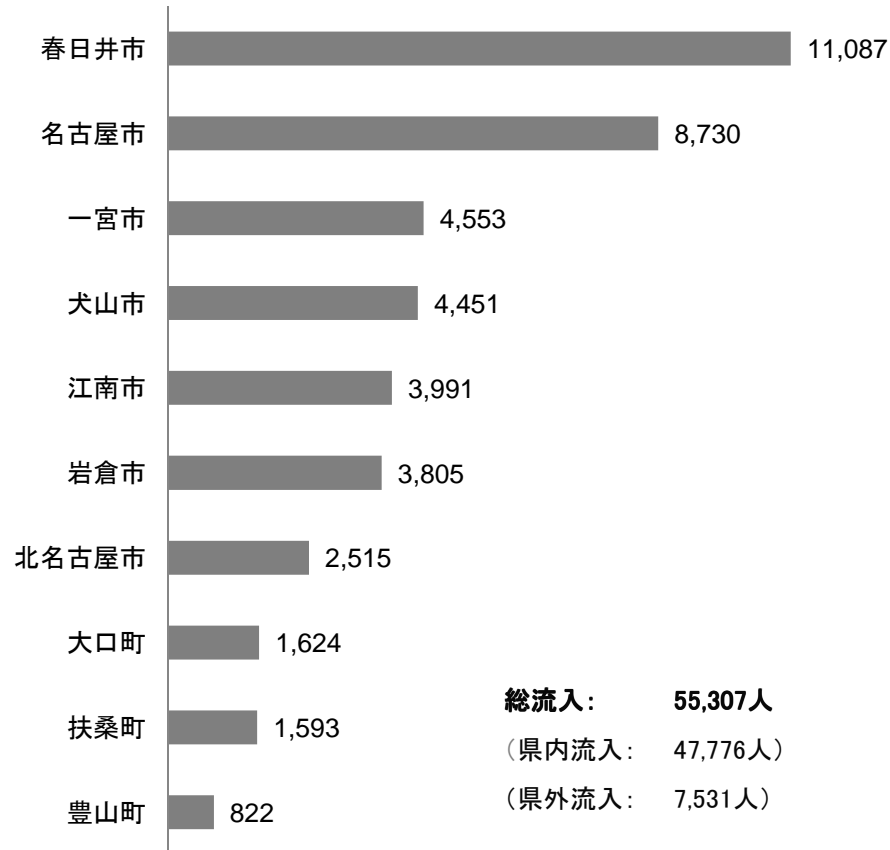
(参考)平成22年の小牧市交流人口 \_ 流入元・流出先

定住人口 交流人口

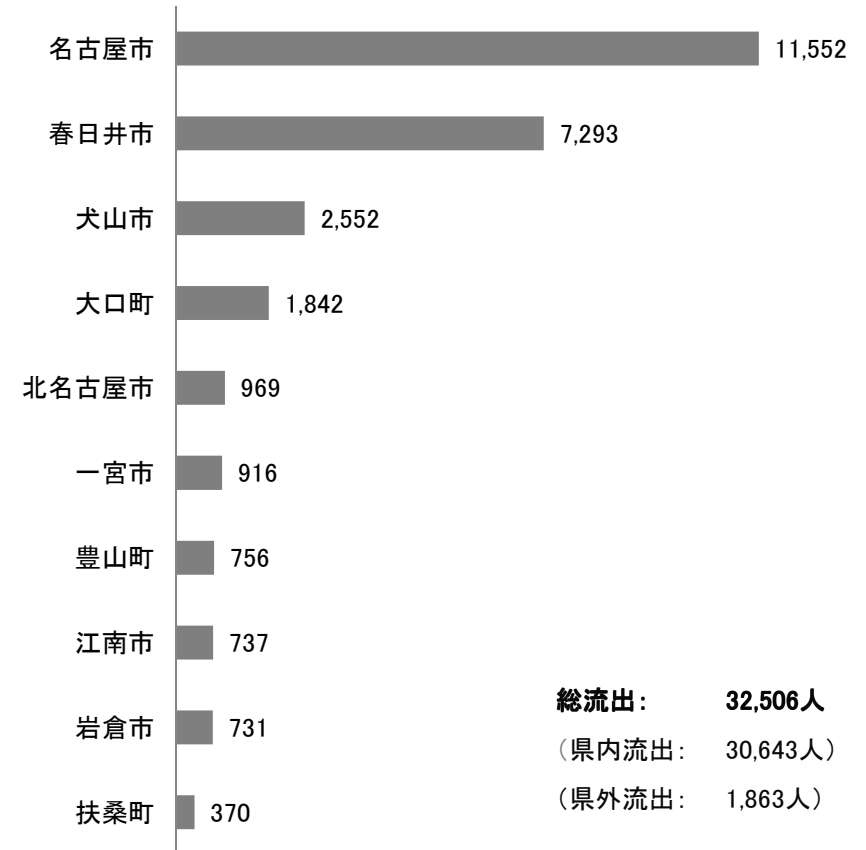
春日井市と名古屋市の流入数・流出数が突出している

※ 交流人口の県外市町村別内訳は取得できないため、記載していない

小牧市への昼間流入元(上位地域) (人)



小牧市からの昼間流出先(上位地域) (人)



資料: 平成22年 国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・産業等集計  
平成22年 国勢調査 常住地又は従業地・通学地による人口(夜間人口・昼間人口)

\* 本データにおける定住人口は国勢調査ベースの人口であるため、p6の数値(住民基本台帳ベース)とは異なる

# 小牧市の社会増減と交流人口の相関分析

定住人口 交流人口

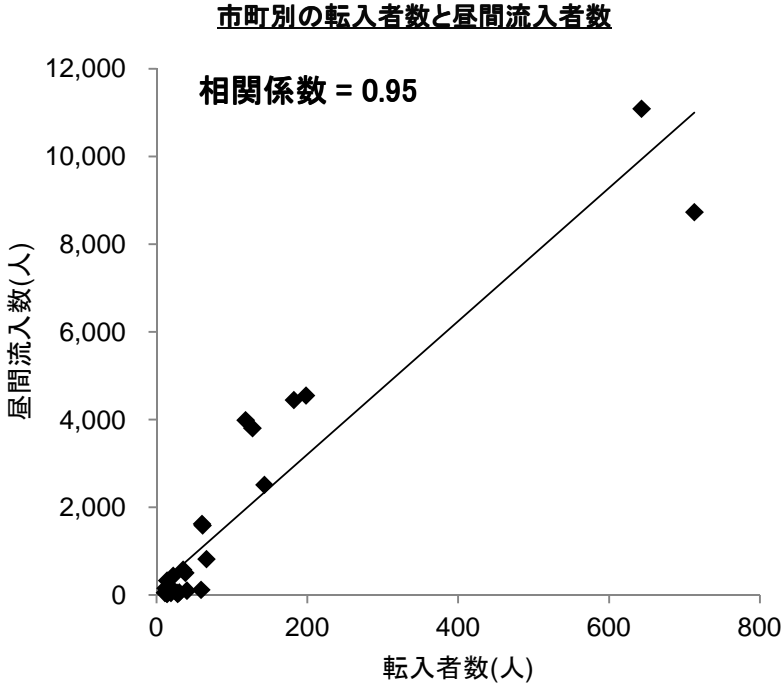
「年間転入元」と「昼間流入元」の市町は高い相関にあるため、近隣市町村に居住する小牧勤労者の転入が生産年齢層の獲得に寄与する可能性が高いのではないか

小牧市の昼間流入者数と転入者数 (TOP10)

転入者数 (平成26年)(人)		昼間流入者数 (平成22年)(人)	
名古屋市*	713	春日井市	11,087
春日井市	643	名古屋市	8,730
一宮市	198	一宮市	4,553
犬山市	182	犬山市	4,451
北名古屋市	143	江南市	3,991
岩倉市	127	岩倉市	3,805
江南市	118	北名古屋市	2,515
豊山町	66	大口町	1,624
扶桑町	61	扶桑町	1,593
大口町	60	豊山町	822

転入者数と昼間流入者数の相関

小牧市への転入者数が多い市町は、昼間流入者数も同様に多い傾向にある



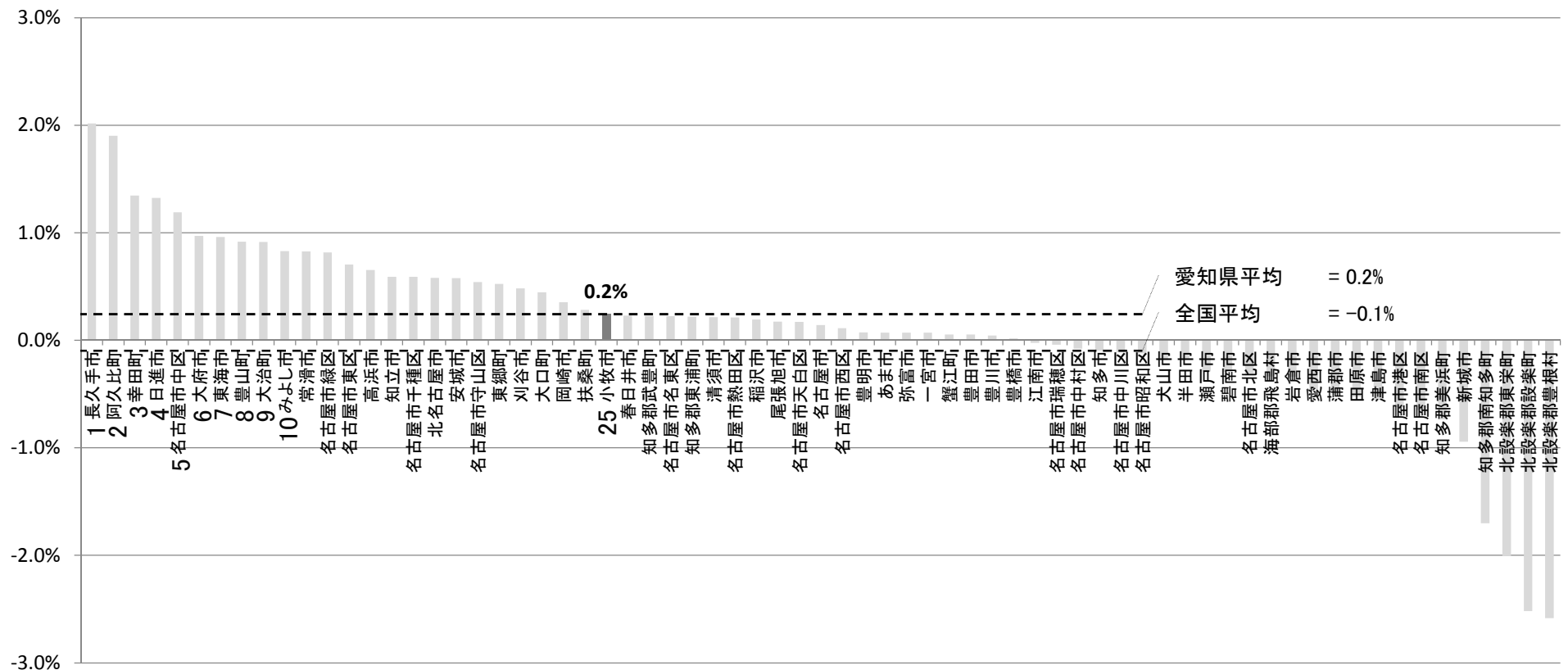
\* 名古屋市は区単位ではなく、市単位で取り扱う  
資料: 平成22年 国勢調査 国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・産業等集計  
住民基本台帳 人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級), 男女, 転入・転出市区町村別結果)

## 愛知県市町村の人口増減

定住人口 交流人口

人口増加率は全国的に低下傾向にある中、小牧市は愛知県平均と同程度の微増を維持している。ただし、小牧市以上に大きく人口増加を実現している市町村も存在していることに留意すべきである

愛知県内の市町別人口の年平均成長率(平成22-26年)\*



資料: 平成22-26年住民基本台帳人口・世帯数, 人口動態(市区町村別)

\* 各年の3月を参照、但し平成26年のみ1月(例:平成24年 = 平成24年の3月時点)

## 自然増減・社会増減による地域分類

定住人口 交流人口

愛知県内で人口増加を実現している市町は平均以上の社会増を示し、その約半数は自然増も平均以上となっている

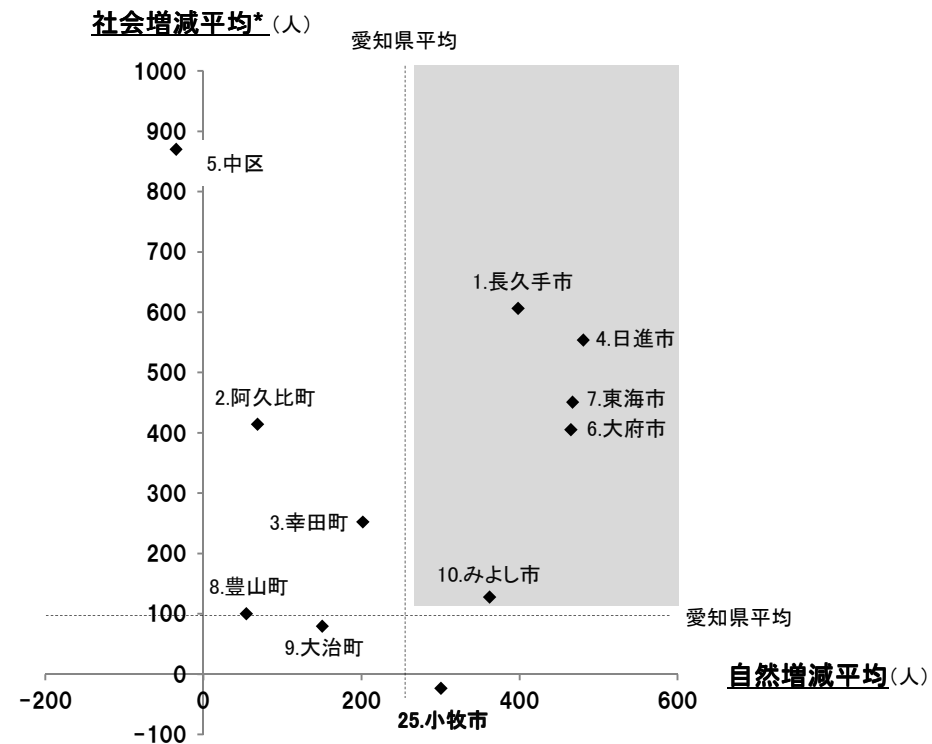
### 地域の抽出条件

- ・ 人口の年平均成長率  
上位10地域 (13Pより)

1. 長久手市
2. 阿久比町
3. 幸田町
4. 日進市
5. 中区
6. 大府市
7. 東海市
8. 豊山町
9. 大治町
10. みよし市

- ・ 小牧市

### 人口増減の原因による地域分類 (平成22～26年平均)\*



資料: 平成22-26年住民基本台帳人口・世帯数, 人口動態(市区町村別)

\* 各年の3月を参照、但し平成26年のみ1月(例: 平成24年 = 平成24年の3月時点)

# 愛知県市町村の自然増減

定住人口 交流人口

人口の自然増には、一人あたりの出産人数よりも、出産年齢人口の増加が寄与しているため、社会増の影響が強いといえる

## 自然増の原因による地域分類\*

### 地域の抽出条件

- 人口の年平均成長率上位10地域 (13Pより)

1. 長久手市
2. 阿久比町
3. 幸田町
4. 日進市
5. 中区
6. 大府市
7. 東海市
8. 豊山町
9. 大治町
10. みよし市

- 小牧市

### 自然増の原因

#### 合計特殊出生率

愛知県 = 1.51  
全国 = 1.38

### 総人口増加率上位10地域 + 小牧市

9. 大治町	1.84
7. 東海市	1.82
10. みよし市	1.81
3. 幸田町	1.77
8. 豊山町	1.74
6. 大府市	1.73
4. 日進市	1.69
2. 阿久比町	1.62
1. 長久手市	1.55
5. 中区	0.97
25. 小牧市	1.55

#### 出産年齢人口増加率\*\*

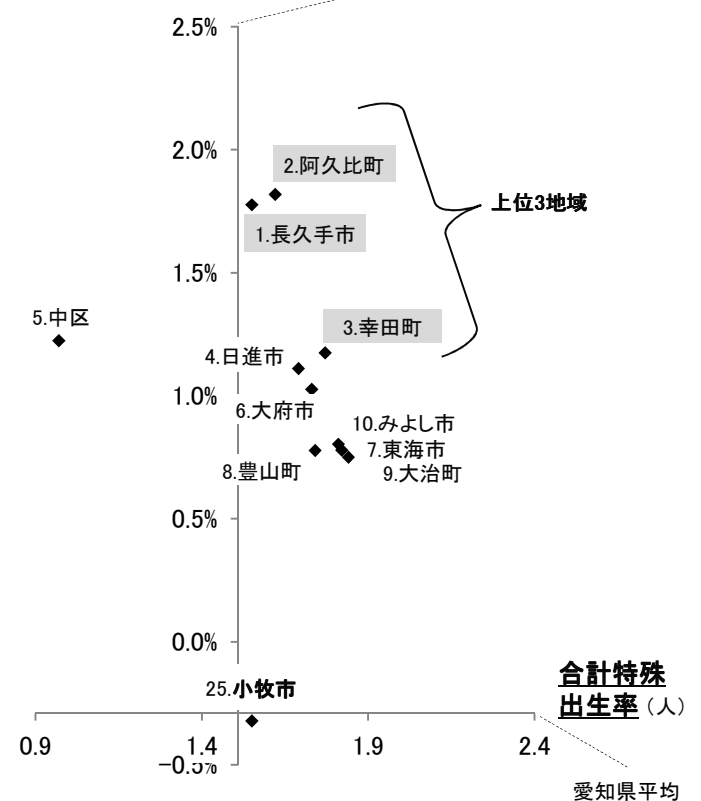
愛知県 = -0.1%  
全国 = -0.7%

1. 長久手市	1.8%
2. 阿久比町	1.8%
5. 中区	1.2%
3. 幸田町	1.2%
4. 日進市	1.1%
6. 大府市	1.0%
8. 豊山町	0.8%
9. 大治町	0.8%
7. 東海市	0.8%
10. みよし市	0.8%
25. 小牧市	-0.3%

### グラフ\*\*\*

#### 出産年齢人口

増加率 (%) 愛知県平均



資料: 人口動態保健所・市町村別統計 合計特殊出生率・母の年齢階級別出生率、都道府県・保健所・市区町村別(平成20年~24年)  
平成22-26年 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 住民基本台帳年齢別人口(市区町村別)

\* 先進国において「死亡数」への介入は困難であることから、本分析の対象外とする

\*\* 保健衛生研究における合計特殊出生率の定義に基づき、出産年齢人口増加率は15-49歳女性人口の年平均成長率(%)として算出

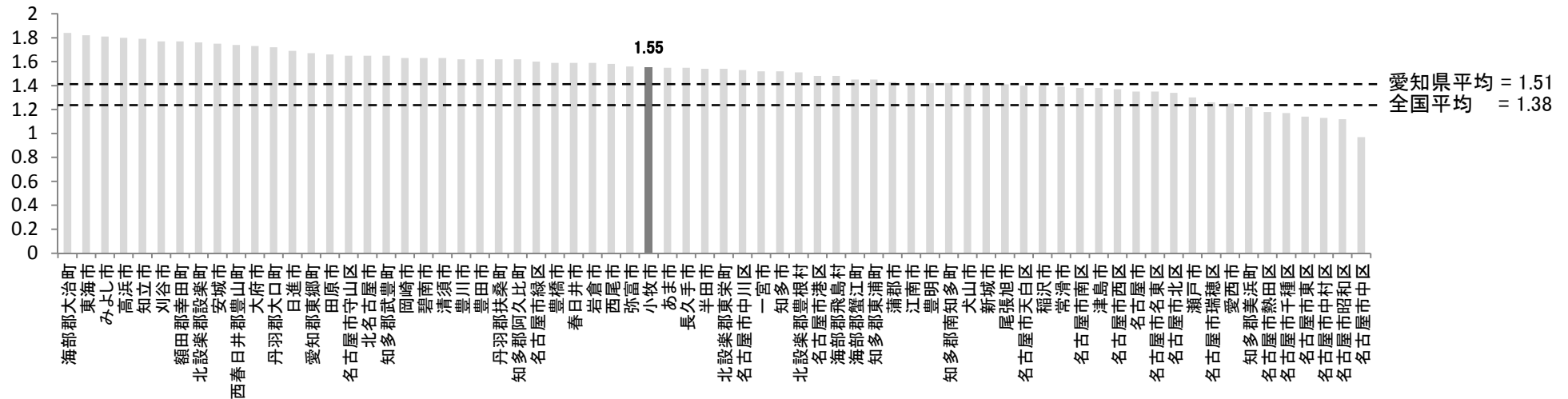
\*\*\* 原点を愛知県平均とする

(参考)愛知県市町村の合計特殊出生率

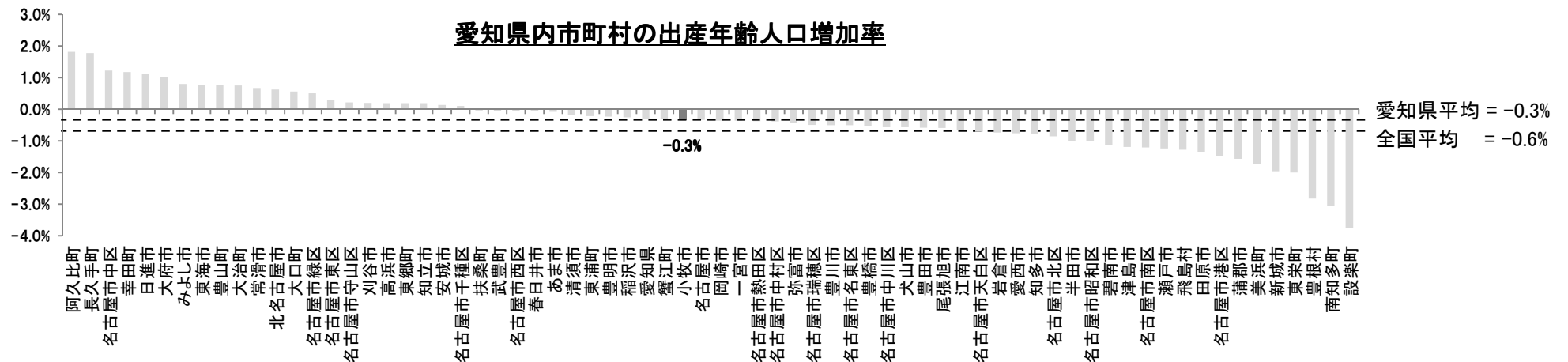
定住人口 交流人口

小牧市の合計特殊出生率は、愛知県平均をやや上回っているものの、出産年齢人口は、愛知県平均と同程度に減少傾向である

愛知県内市町村の合計特殊出生率



愛知県内市町村の出産年齢人口増加率



資料: 人口動態保健所・市町村別統計 合計特殊出生率・母の年齢階級別出生率, 都道府県・保健所・市区町村別(平成20年~24年)  
平成22-26年 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数 住民基本台帳年齢別人口(市区町村別)

定住人口	交流人口
1000000	1000000

# 小牧市の将来人口推移

定住人口 交流人口

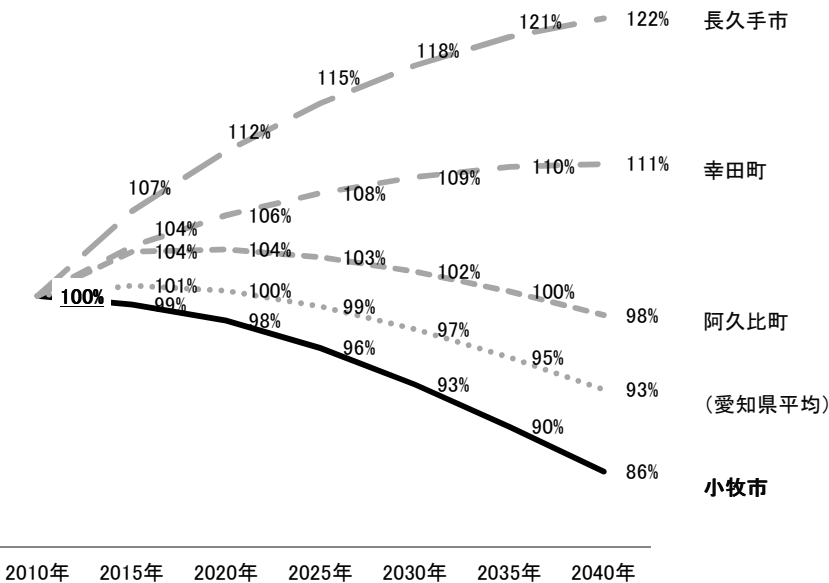
愛知県全体と同様に、小牧市の人口は減少すると推計され、経済の縮小、市財政の悪化が起こる可能性がある

## 分析の前提

- ・ 国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の将来人口推計に準拠
- ・ 人口の増加率とその世代構成が将来の人口推計に影響を与える

## 将来人口推計(2010年比人口; %)\*

- ・ 小牧市は愛知県平均よりも人口減少が強い



## 想定される課題

- ・ 市財政面の課題
  - 人口(特に生産年齢人口)の減少による歳入減少
  - 人口構成の変化(高齢化等)による歳出増加
- ・ 市経済面の課題
  - 人口減少による市内総生産(GRP)の縮小

\* 人口増加上位3市町を抽出(長久手市、阿久比町、幸田町)

資料: 国立社会保障・人口問題研究所 男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)